

■北城陽中学校の授業 『あい学習』について

●『あい学習』の目的と目標

目的	「未知の自分との出会い」
目標	「NO CHILD ALONE !」 ・一人残らず学びの主体者に ・わからなさを宝ものに ・一人も放っておかない

→そのために・・・

『聴きあい』	「ねえ、ここどうするの」と聴きあう
『学びあい』	一人一人の学びを深めあう
『高めあい』	高みに向かって挑戦しあう

1 『あい学習』の教室

(1) 学習班について

- ・生活班とは別に、授業で学習するための単位を「学習班」とする。

(2) グループ学習のルール

- ・4人の机を隙間のないようにくっつける。
- ・机の真ん中に筆箱や教科書、ノートを置かない。
- ・みんなの頭が机の中心に寄るようにしてグループ活動をする。



2 『あい学習』の学び方

(1) 自ら考える。

- ・課題に対してすぐにあきらめない。
- ・自分の力でじっくりと考える。

(2) 聴きあう関係

- ・考えてもわからない時は仲間に聴く。
→「ねえ、ここどう考えたらいいの?」「ねえ、ここどうしたらいいの?」

(3) 自分の言葉で発言する。

- ・聴かれたら相手がわかるまで丁寧に説明をする。
→「わかる」＝わからない人がわかるよう、説明することができること

3 学びあえる教室にするために

(1) わからないときは自分から友だちに聴く。

- ・「わからないから教えて」「もう一回説明して」など

(2) 聴かれたら相手が納得するまで説明する。

- ・相手の考えに寄り添って、納得できるように説明する。
- ・絵や図を書きながら説明する。

(3) 自分の考えと比べながら、相手の考えを聴く。

- ・自分の考えとどこが違うのか、どこでそう思ったのかを考える。
→「～さんが言いたいことは、つまり～ということなんだ」

(4) 学ぶ時の作法として

- ・話す人の方を向いて聴く。(耳・目・心で聴く)
- ・友だちの意見につなげて話す。
- ・相手が言いたいことをわかろうとして聴く。

